

環境経営レポート

対象期間：2019年9月1日～2020年8月31日



1. 産業廃棄物・特別管理産業廃棄物収集運搬業
2. 産業廃棄物処分業(中間処理業)
3. 再生重油製造・販売業



発行日：2020年12月 2日

改訂日：2021年 3月17日

全てはお客様の為に



ユナイテッドオイル 株式会社

目 次

	PAGE
1. 環境経営方針	1
2. 組織の概要	2
3. 認証・登録の対象範囲	2
4. 事業内容	4
5. 施設の状況	5
6. 処理実績	7
7. 環境目標	8
8. 環境活動計画	9
9. 環境目標の実績	10
10. 環境活動計画の取組結果とその評価、 次年度の取組内容	11
11. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の 結果並びに違反、訴訟等の有無	12
12. 代表者による全体評価と見直し	13
13. 取組状況	14

1.環境経営方針

「環境経営理念」

当社はお客様に選ばれる再生重油の製造・販売並びに各種産業廃棄物の収集運搬及び処分業務を適正に行う中で、日々創意工夫して事業活動における環境負荷の低減により、深刻化する地球温暖化への取り組みを実践してまいります。

また、再生重油の製造・販売量の拡大により、より一層の資源の有効活用と再資源化を推進してまいります。

「環境保全への行動指針」

1. 環境経営方針を全従業員に周知させ、環境保全への意識向上を図ります。

2. 具体的に次のことに取り組みます。

【二酸化炭素排出量の削減】	電力及び化石燃料使用量の削減
【廃棄物排出量の削減】	中間処理後の二次産業廃棄物排出量の削減
【排水量の削減】	節水活動の推進
【事業に関する環境配慮】	収集運搬車両の燃料使用量の削減 油水分離施設の電力使用量の削減
【環境教育の推進】	外部環境関連講習への積極的な参加と 社内へのフィードバック

3. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

制定日 2018年6月25日

ユナイテッドオイル株式会社

代表取締役社長 安田 天峯

2. 組織の概要

1) 名称及び代表者名

ユナイテッドオイル株式会社

代表取締役社長 安田 天峯

2) 所在地

本社：〒454-0997 愛知県名古屋市中川区万場三丁目1 3 1 4 番地

※平成31年4月1日 本社住所変更

木場工場：〒490-1444 愛知県海部郡飛島村木場一丁目93番2

3) 環境管理責任者及び担当者の氏名・連絡先

環境管理責任者及び担当者

営業部部长 堀 雅晴 TEL 052-485-5591 E-MAIL hori@unitedoil.co.jp

4) 事業概要

産業廃棄物・特別管理産業廃棄物収集運搬業

産業廃棄物処分業（中間処理業）

再生重油の製造・販売業

5) 事業の規模

設立 平成26年 6月16日

資本金 1千万円

売上 8,600万円（2019年9月1日～2020年8月31日）

規 模	本 社※	木場工場	合 計
従業員	3名	3名	6名
パート等	0名	1名	1名
床面積（延べ）	3.3㎡	344.35㎡	347.65㎡

※本社は(株)セイブ本社一区画を借用

6) 事業年度 9月1日～8月31日

※2018年7月1日より事業年度をグループ会社で統一するため6月1日から9月1日に変更

3. 認証・登録の対象範囲

1) 事業所

対象事業所名 : 本社、木場工場

2) 事業内容

産業廃棄物・特別管理産業廃棄物収集運搬業

産業廃棄物処分業（中間処理業）

再生重油の製造・販売業

3) 従業員数 7名

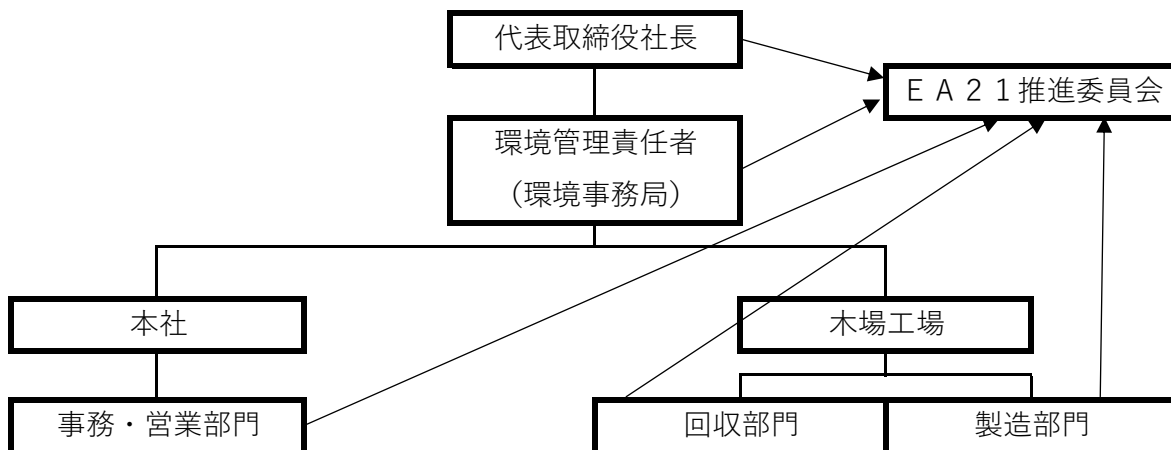
4) 環境経営レポートの対象期間

①当期の活動期間 2019年9月1日～2020年8月31日

※今回の環境経営レポートの作成：2020年12月 2日

5) 組織図

①推進組織



②役割と責任・権限

	役割・責任・権限
代表者（社長）	・ 環境経営に関する統括責任者 ・ 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等を提供 ・ 環境管理責任者を任命 ・ 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・ 環境目標・環境活動計画書を承認 ・ 代表者による全体の評価と見直しを実施 ・ 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・ 環境経営システムの構築、実施、管理 ・ 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・ 環境目標・環境活動計画書を確認 ・ 環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・ 環境経営レポートの確認
環境事務局	・ E A 2 1 推進委員会の事務局 ・ 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックを実施 ・ 環境目標・環境活動計画書原案の作成 ・ 環境活動の実績集計 ・ 環境関連法規等の取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・ 環境関連法規等の取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・ 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・ 環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付と地域事務局への送付） ・ 全従業員への教育訓練の実施 ・ 各部門の想定される事故及び緊急事態への対応手順書の作成及び訓練の実施、記録の作成
E A 2 1 推進委員会 （代表以下全従業員）	・ 環境活動計画の審議 ・ 環境活動実績の確認・評価
全従業員	・ 環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・ 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

4. 事業内容

許可一覧及び許可内容(事業の範囲)

		処分	収集運搬（愛知県のみ積替え、保管あり）			
		愛知県	愛知県	岐阜県	三重県	静岡県
産業 廃棄物	許可番号	02320179925	02310179925	02100179925	021400179925	02201179925
	許可の年月日	2016.9.27	2019.10.22	2019.11.27	2021.1.15	2019.12.3
	許可の有効期限	2021.9.26	2024.10.21	2024.11.10	2026.1.14	2024.12.2
	処分方法	油水分離				
	処理能力	19.8 m³／日 (2.2m³／時間)				
	燃え殻		●	●	●	●
	汚泥		●	●	●	●
	廃油	●	●	●	●	●
	廃酸		●	●	●	●
	廃アルカリ		●	●	●	●
	廃プラスチック類		●	●	●	●
	紙くず		●	●	●	●
	木くず		●	●	●	●
	繊維くず		●	●	●	●
	動植物性残さ		●	●	●	●
	金属くず		●	●	●	●
	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず		●	●	●	●
	がれき類		●	●		●
	ダスト類		●	●		●
特別 管理 産業 廃棄物	許可番号		02350179925	02150179925	02450179925	02251179925
	許可の年月日		2019.10.22	2020.3.27	2021.1.15	2020.4.10
	許可の有効期限		2024.10.21	2025.3.26	2026.1.14	2025.4.9
	引火性廃油		●	●	●	●
	腐食性廃酸		●	●	●	●
	腐食性廃アルカリ		●	●	●	●
	感染性産業廃棄物		●	●		
	特定有害廃PCB等		●			
	特定有害PCB汚染物		●			
	特定有害廃石綿等		●	●		●
	特定有害ダスト類		●	●		●
	特定有害燃え殻		●	●		●
	特定有害廃油		●	●		
	特定有害汚泥		●	●		●
	特定有害廃酸		●	●		●
	特定有害廃アルカリ		●	●		●

5. 施設の状況

①収集運搬業務

《運搬車両一覧》

形式		積載量 (k g)	台数
キャブオーバー	パワーゲート	3, 0 0 0 k g	1 台
タンク車	タンクローリー	3, 3 4 0 k g	2 台
タンク車	タンクローリー	1, 5 2 0 k g	2 台
タンク車	タンクローリー	5, 2 2 0 k g	1 台
バン	バン	1, 2 0 0 k g	1 台
清掃車	超強力吸引車	3, 9 8 0 k g	1 台
		合計	8 台

《積替え、保管》

廃酸（水銀含有ばいじん等を除く。）

廃アルカリ（水銀含有ばいじん等を除く。）

以上 2 品目（水銀使用製品産業廃棄物を除く。）

（1）所在地 海部郡飛島村木場一丁目 9 3 番 2

（2）面積 9 6 6 m² （保管面積 1 0 m²）

（3）保管上限 1 0 m³

（4）高さ 該当なし

②処分業務

《木場工場》

許可	産業廃棄物処分業（中間処理業）		
許可品目	廃油		
処分方法	油水分離		
処理能力	1 9. 8 m ³ /日（2. 2 m ³ /時間）		
設備	原料タンク	1 0 K L 地上タンク	2 基
	製品タンク	2 0 K L 地上タンク	1 基
	加熱タンク	6 K L 地上タンク	1 基
	遠心分離機		2 基
	ろ過機		2 基
	水分吸引器		4 基
	コンプレッサー	本体出力 1 5 K W	1 基
		（ドライヤー出力 0. 5 K W）	

③処理工程（木場工場）

1. 廃油荷卸し



タンクローリーで各お客様から回収
してきた廃油を荷卸し
(10KL 地上タンク 2基)



2. 加熱処理



タンク内の廃油を電気ヒーターによる加熱
及びバブリングによる廃油中の水分除去
(加熱タンク 2KL × 3室)

3. 遠心分離処理



加熱処理された廃油中のスラッジ
(不純物) を遠心分離機にて除去
(遠心分離機 2基)



4. 水分除去処理



加熱処理・遠心分離処理時に発生する
水分(水蒸気)を強力吸引器により除去
(強力吸引器 4台)

5. ろ過処理



遠心分離機で除去できない軽質
不純物(主に繊維質状)をろ過機
にて除去
(不純物ろ過機(300メッシュ) 2基)



6. 製品保管



1～5処理が完了した後、製品化された
再生重油を製品タンクに保管し、出荷
(20KL 地上タンク 1基)

7. 上記処理工程で発生する除去分(自社廃棄物)の処理先

- ①水分→有限会社リサイクリング産業
- ②スラッジ分(不純物)→日活合成工業株式会社、株式会社ダイセキ

6. 処理実績

1. 直近1年間の実績

①廃油中間処理量（自社処分）

単位 t

		2018.9.1～2019.8.31	2019.9.1～2020.8.31	増 減
廃油	産廃	7.22	15.32	8.1
	有価物	1,521.38	1,866.08	344.70
	合計	1,528.60	1,881.40	352.80
再生重油		1,485.00	1,811.70	326.70
中間処理リサイクル率		97.15%	96.30%	-0.85%

②収集運搬量（他社処分）

単位 t

	2018.9.1～2019.8.31	2019.9.1～2020.8.31	増 減
引火性廃油	2.22	1.95	-0.27
廃油（産廃）	55.578	66.978	11.4
廃油(有価物)	0	0	0
汚泥	71.72	65.89	-5.83
金属くず	65.097	70.05	4.953
廃プラスチック類	0.4	3.72	3.32
廃アルカリ	28.07	29.5	1.43
合計	223.085	238.088	15.003
			106.73%

※各産業廃棄物の容量（m³）から重量（t）への計算は産業廃棄物換算係数表による

- 1) 廃油・引火性廃油 0.9
- 2) 汚泥 1.1
- 3) 金属くず 1.13
- 4) 廃プラスチック類 0.35
- 5) 廃アルカリ 1.13

③全収集運搬量（自社処分＋他社処分）

単位 t

	2018.9.1～2019.8.31	2019.9.1～2020.8.31	増 減
自社処分	1,528.60	1,881.40	352.80
他社処分	223.09	238.09	15.01
合 計	1751.69	2119.49	367.81

7. 環境目標

項目			単位	2017年 (基準期間)	2018年(12ヶ月)		2019年(12ヶ月)		2020年(12ヶ月)	
				2017年6月1日 ～2018年5月31日	2018年9月1日 ～2019年8月31日		2019年9月1日 ～2020年8月31日		2020年9月1日 ～2021年8月31日	
				12ヶ月(実績)	年間目標	12ヶ月	年間目標	12ヶ月	年間目標	12ヶ月
収集運搬量			t	1,279.1	1,407.0		1,534.9		1,662.8	
二酸化炭素	二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂		118,288	1%減	128,816	2%減	139,107	3%減	149,161
	運搬量単位換算値	kg-CO ₂ /t		92.48		92		91		90
使用電気	購入電力(削減量)	kWh		128,898	1%減	140,370	2%減	151,584	3%減	162,540
	運搬量原単位	kWh/t		100.77		99.8		98.8		97.8
化石燃料	ガソリン	ガソリン使用量	L	2,517	1%減	2,741	2%減	2,960	3%減	3,174
		運搬量原単位	L/t	1.97		1.95		1.93		1.91
	軽油	軽油使用量	L	15,784	1%減	17,189	2%減	18,562	3%減	19,904
		運搬量原単位	L/t	12.34		12.22		12.09		11.97
使用水道	水道使用量	m ³		30	1%減	32.70	2%減	35.28	3%減	37.83
	運搬量原単位	m ³ /t		0.023		0.02		0.02		0.02
廃棄物	一般廃棄物排出量	kg		データなし	1%減	23.52	2%減	目標設定	3%減	削減
	運搬量原単位	kg/t		データなし		0.26		目標設定		削減
	産業廃棄物排出量	t		5.13	1%減	5.59	2%減	6.03	3%減	6.47
	運搬量原単位	t/t		0.004		0.004		0.004		0.004
中間処理リサイクル率の向上			%	96.4	96.6		96.8		97.0	
グリーン購入推進(努力目標)			購入金額(円)	購入に努力する	購入に努力する		購入に努力する		購入に努力する	

- * 1 化学物質(PRTR対象物)の使用はない
- * 2 電気の二酸化炭素換算係数は丸紅新電力R2.1.7環境省・経済産業省公表調整後排出係数 0.542を使用
- * 3 グリーン購入に関しては、数値目標が決め難いので、当面努力目標として、実績把握をする。
- * 4 グループ会社である株式会社セイブの本社一区画を借用している本社の負荷データ・数値目標等は、別途EA21を取得している株式会社セイブにて把握等の管理をしており当社の負荷データは主に木場工場のものとなっております。活動計画につきましては、本社のものも含まれます。

8. 環境活動計画

対象項目			活動	活動項目	担当責任者
二酸化炭素削減	化石燃料削減	ガソリン・軽油 使用量削減	全車両エコドライブ による燃料使用量削減の徹底	不必要なアイドリング禁止	回収担当者
				不要な荷物を降ろして車両の軽量化	〃
				急発進・急加速の禁止	〃
				エアコンを控えめにする。	〃
				適切なルート選定による効率的な運転の促進	〃
				早めのシフトアップ	〃
				タイヤ空気圧のチェック	〃
	電気使用量削減	事務所・工場での電気使用量の低減	不要な照明の消灯	工場長	
			エアコン夏は28℃、冬は23℃に設定（目標）	〃	
			電気使用率（精製時間）のチェック	〃	
			電気機器のスイッチをこまめにオフ	〃	
			コンプレッサーのエア漏れ点検	〃	
総水量削減	使用量の削減		節水ラベルの表示	工場長	
			配水管等の漏水点検	〃	
			蛇口の閉め忘れ点検	〃	
廃棄物削減 廃棄量	排出量の削減	事務所・工場等	コピー用紙の両面使用	総務部長	
			資源ごみの分別リサイクル推進	〃	
			ペーパーレスの推進	〃	
			リサイクルが安易な物を使用する。	〃	
中間処理リサイクル率の向上			原料の含水率をチェック	営業部長	
グリーン購入推進			再生紙等の使用推進	総務部長	
			再生ウエスの使用推進	〃	

* 電気使用率＝木場工場1ヶ月間の電気使用量（kwh）÷当該月再生重油出荷量（L）

（電気使用率とは再生重油を精製する際どれ位電気を使用するかという値であり、
電気使用率が低い程原料の質が良く効率的な精製が出来ているという事となる。）

9. 環境目標の実績

項 目		単位	2 0 1 7 年（基準）	2 0 1 9 年（目標）		2 0 1 9 年（実績）		評価
			2 0 1 7 年6月1日 ～ 2 0 1 8 年5 月 3 1 日	2 0 1 9 年9月1日 ～ 2 0 2 0 年8 月 3 1 日		2 0 1 9 年9月1日 ～ 2 0 2 0 年8 月 3 1 日		
			1 2 ヶ 月（実績）	12 ヶ 月 目 標	基準比 （%）	12 ヶ 月 実 績	目 標 対 比 （%）	
収集運搬量		t	1,279.1	1,534.9		2,119.5		-
二酸化炭素総排出量		k g - CO 2	118,288	139,107	2%減	147,921	-6.3%	×
運搬量単位換算値		kg- C O 2/ t	92.48	90.63		69.79	23.0%	○
電 気	購入電気	kW h	128,898	151,584	2%減	156,907	-3.5%	×
	運搬量単位	kW h / t	100.77	98.76		74.03	25.0%	○
化 石 燃 料	ガ ソ リ ン	ガソリン使用量	L	2,517	2%減	1,718	42.0%	○
		運搬量単位	L / t	1.97		1.93	0.81	58.0%
	軽 油	軽油使用量	L	15,784	2%減	22,440	-20.9%	×
		運搬量単位	L / t	12.34		12.09	10.59	12.4%
水	水道使用量	m³	30.00	35.28	2%減	18.0	49.0%	○
	運搬量単位	m³/ t	0.02	0.02		0.01	50.0%	○
廃 棄 物	一廃排出量	k g	データーなし	23.52	2%減	14.00	40.5%	○
	運搬量単位	k g / t	データーなし	0.26		0.01	96.2%	○
	産廃排出量	t	5.13	6.03	2%減	7.20	-19.4%	×
	運搬量単位	t / t	0.004	0.004		0.003	25.0%	○
中間処理リサイクル率の向上		%	96.40	96.80		96.30		×
グリーン購入推進 （努力目標）		購入金額 （円）	データーなし	努力目標	-	再生ウエス	2,300	—

- * 1 化学物質（PRTR対象物）の使用はない
- * 2 グリーン購入に関しては、数値目標が決め難いので、当面努力目標として、実績把握をする。（再生紙、再生ウエス購入金額把握）
- * 3 実施結果に対する評価は目標達成○、未達×とする

4) 環境目標実績評価

収集運搬量が前年同期間比で21%増加した事、再生重油製造・販売量が22%増加した事により軽油使用量及び電気使用量が増え結果として二酸化炭素総排出量が増えた。

しかしながら、回収ルート効率化及び再生重油精製時間管理の徹底により、運搬量単位での削減は達成できた。

また木場工場の電気使用率も前年の0.094から本年は0.0934にわずかではあるが改善できた。

中間処理リサイクル率は前年対比0.85%、目標に対し0.5%マイナスとなってしまったが、これはコロナ禍で再生重油の需要が落ち込んだため出荷したくても出荷できず在庫が増えてしまった為である。

水の使用量減少についてはバキューム車の稼働は前年同様程度であったが、コロナ禍で中和洗浄作業が全くなかったことが主な要因であり、それとともに社員の節水意識向上も加わった結果である。

10. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

対象項目			活動	活動項目	担当責任者	評価	次年度の取組内容
二酸化炭素排出量削減	化石燃料削減	ガソリン・軽油の使用量削減	全車両エコドライブによる燃料消費量の徹底	不必要なアイドリング禁止	回収担当者	○	効率的なルート回収、エコドライブの徹底により軽油使用量の削減により一層努める。
				不要な荷物を降ろして車両の軽量化	〃	○	
				急発進・急加速の禁止	〃	○	
				エアコンを控えめにする。	〃	△	
				適切なルート選定による効率的な運転の促進	〃	○	
				早めのシフトアップ	〃	○	
				タイヤ空気圧のチェック	〃	△	
	電気の削減	使用量の低減	事務所・工場での電気使用量の低減	不要な照明の消灯	工場長	○	各項目とも今後も継続実施していく
				エアコン夏は28℃、冬は23℃に設定（目標）	〃	○	
				電気使用率（精製時間）のチェック	〃	○	
				電気機器のスイッチをこまめにオフ	〃	○	
				コンプレッサーのエア漏れ点検	〃	○	
水使用量の削減			節水ラベルの表示	工場長	○	同上	
			配水管等の漏水点検	〃	○		
			蛇口の閉め忘れ点検	〃	○		
廃棄物排出量削減		事務所・工場等	コピー用紙の両面使用	総務部長	△	コピー用紙の両面使用及びペーパーレス化に積極的に取り組む	
			資源ごみの分別リサイクル推進	〃	○		
			ペーパーレスの推進	〃	○		
			リサイクルが安易な物を使用する。	〃	○		
中間処理リサイクル率の向上			原料の含水率をチェック	営業部長	○	継続実施する	
グリーン購入推進			再生紙等の使用推進	総務部長	○	同上	
			再生ウエスの使用推進	〃	○		

* 化学物質の使用はありません（P R T R対象物質）

* 評価基準 ○ 実施 △ 一部実施 × 未実施

（環境活動計画実施結果に対する評価と次年度の取り組み内容）

1. 軽油使用量が増加→エコドライブの徹底に取り組む
2. 電気使用量が増加→電気使用率の管理を継続していく
3. 原料の含水率チェックの継続→製造時間短縮につながる
4. 再生ウエス使用継続→環境負荷低減につながる
5. 2021年4月より電子契約を導入→ペーパーレス推進につながる

1 1. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

1) 環境関連法規の遵守状況の確認

法律・条令等の名称	法律等要求事項	確認日	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (排出事業者)	処理委託業者との契約書締結	2020.11.27	○
	処理委託業者の適正処理確認	〃	○
	マニフェストの発行・保管	〃	○
	管理票交付等状況報告書の提出	〃	○
	許可証の有効期限の確認	〃	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (収集運搬業)	運搬車両への表示	〃	○
	事業範囲の遵守	〃	○
	許可証・マニフェストの携帯	〃	○
	許可証の有効期限の確認	〃	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (処分業)	事業範囲の遵守	〃	○
	マニフェスト帳簿の作成・保管	〃	○
	契約書の締結・保管	〃	○
	マニフェストの保管	〃	○
	廃棄物処理施設技術管理者の設置	〃	○
	処理実績報告書の届出	〃	○
	許可証の有効期限の確認	〃	○
浄化槽法	建築確認書類	〃	○
	法定検査・保守点検・清掃	〃	○
消防法	許可書の保管	〃	○
	保安監督者の選任	〃	○
	移動タンク貯蔵所定期点検の実施及び記録の保管	〃	○
	移動タンク貯蔵所加圧試験の実施	〃	○
	危険物製造所点検の実施と記録の保管	〃	○
	消火器の点検	〃	○
フロン排出抑制法	簡易点検の実施及びその記録の保管	〃	○
グリーン購入法	環境物品の選択	〃	○
電気事業法	設置届	〃	○
	年次点検・月次点検	〃	○
騒音規制法	敷地境界での規制値の遵守	〃	○
振動規制法	敷地境界での規制値の遵守	〃	○
愛知県県民の環境保全に関する条例	アイドリングストップ義務（社員の教育）	〃	○

対象期間内の環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、各法規を遵守していることを確認した。

2) 違反・訴訟の有無

過去3年間、各関係機関からの指摘もなく、違反及び訴訟の事実はありません。

1 2. 代表者による全体評価と見直し

2020年12月1日

代表取締役社長 安田 天峯

実施日	2020年12月1日
場所	木場工場 事務所
出席者	安田天峯・安江尚久・加藤勝利・堀雅晴・鳴山保宏・古布村健史・浅野泰紀

1. 各項目の取り組みに対する評価

	項目	評価
1	環境目標の達成状況	今年度も二酸化炭素総排出量削減が未達成。運搬量単位換算値を今年度の69.79から60に下げよう取り組む。一般廃棄物（可燃ゴミ）は22kgから14kgに減量できたので次年度も更に減量できるよう取り組む。廃棄物の増加はタンク清掃由来の物が多いので製品の品質向上の為にはやむを得ないが原料チェック管理により増加しないよう取り組む。
2	環境活動計画の取組結果	概ね実施できているが、夏場のエアコンを控えめにする事が難しい点、昨年に引き続きコピー用紙の両面使用がまだ一部できていない点が取組課題。
3	環境関連法規の遵守状況	今後も継続して各法令を遵守していく。
4	外部コミュニケーション記録	苦情はなかったので、継続して苦情のないよう各業務を実施していく。
5	問題点の是正・予防処置	木場工場産廃排出量は前年度のほぼ倍発生している。タンク清掃由来の産廃が多い事は把握しているが、回収量が倍になっている訳ではない。水分・不純物の多い原料がないか点検する。

2. 各項目の取り組みに対する見直し及び変更

	項目	見直し・変更
1	環境経営方針	変更なし
2	環境目標	変更なし
3	環境活動計画	変更なし
4	環境経営システム	変更なし

3. 総括

今期前半は業績も良かったが、コロナ禍の影響で後半はかなり厳しかった。水の使用量などはコロナ禍の影響で作業が激減した事によるところが大きい。エコアクション21の取組推進により節電・節水・エコドライブを徹底し、地球環境の為に会社のためにもCO2削減に取り組む。

1 3. 取組状況



木場工場内の掲示の様子